

編集後記

この度、歯学部ニュースの編集委員を務めさせていただきました。先生方にはお忙しいところ、また、6年生には歯科医師国家試験終了直後の大変お疲れなところ、さらに、4年生には後期試験で四苦八苦している中、無理を申しご寄稿いただき誠にありがとうございました。かく言う私は、原稿依頼後、毎日毎日メールをチェックし、一日千秋の思いで原稿をお待ちしておりました。今回、歯学部ニュースの編集委員を経験し、つくづく編集者には向いていないのではと思いました。最後に、執筆をお引き受けいただきました先生方、関係者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

生体歯科補綴学分野 青柳 裕仁

この度「SCRIP参加報告」「短期留学（SV）を経験して」「早期臨床実習を終えて」「医歯学祭を終えて」を担当し、主に学生さんへの執筆依頼をさせていただきました。メールでのやり取りや原稿の確認を行う中で、学生の皆さんが様々な経験を自分の将来の糧にし、さらにはそれを社会へ還元したいという気持ちを持っていることが伝わってきて、とても感動しました。この歯学部ニュースがその一助となり、皆様の交流が深まれば幸いです。

歯学教育研究開発学分野 塩見 晶

はじめに、この度は大変お忙しい中、原稿執筆にご協力いただきました先生方、学生さんに心より感謝を申し上げます。今回、初めて歯学部ニュースの作成に関わる仕事をさせていただき、先生方の活躍、学生の皆さんの今について改めて知ることができるよい機会となりました。今後とも、歯学部ニュースが歯学部の今を伝える重要な媒体として皆さんの役に立って欲しいと思います。

福祉学分野 米澤 大輔

普段読み慣れている歯学部ニュースを初めて編集の立場から担当させていただき貴重な経験となりました。学部内に学生さん、教員を含めこれほどの人材が揃っていることに改めて気付かされました。原稿を依頼した学生さん、先生方、お忙しい中執筆を誠にありがとうございました。特に素顔拝見では、学部内でひっぱりだこの教員の先生に依頼させていただいたので、著者の先生は時間を見つけるのが大変だったのではないかと思います。改めて御礼申し上げます。

高度口腔機能教育センター 前川 知樹

今回歯学部ニュース132号の編集を取りまとめさせていただきました。遅れが出たものの編集委員の皆さんが手際よく仕事をこなしていただいて何とか編集を進めることができました。お忙しいなか原稿の執筆にご協力いただきました皆様にも感謝申し上げます。原稿に目を通しつつ、“新潟大学歯学部”に所属する多くの方々の実に多様な活動が歯学部という組織を生き生きとさせている”ということに改めて感銘を受けた次第です。

顎顔面口腔外科学分野 永田 昌毅